

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成19年3月9日
第722号

〒952-1209 佐渡市千種155
: 0259(63)4156(☎) 4115(代) FAX : 4117
<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/> E-mail : kanal es@sado.ed.jp



パンジーの苗を買いました。白，黄色，濃い紫，薄い紫，赤紫の全部で6種類です。ことば・こころの教室では修了式，学校や園では卒業式や卒園式のシーズンを迎えます。みんなの心にも，色とりどりの花が咲きますように。

クローズアップ言葉4 ～大切な親の役目～

通級指導の中で，親は幾つかの大切な役目をしていきます。これをちゃんとやるかやらないかで，改善の仕方は変わってくるのではないのでしょうか。

一つ目は，指導日に子どもを教室へ連れて来ることです。金井小及び巡回校在籍の子どもは，教室へ一人で通いますが，それ以外の子どもは，親が連れて来なくてははいけません。仕事をもつ親なら，一月にちよくちよく休みをもらうことは，今の時勢，難しいことです。夫婦で交替し，祖父母の助けをもらいながらの通級になります。本当に大変なことだと思います。

二つ目は，指導中に子どもに付き添うことです。指導が始まって間もない子どもや幼児では，親が側にいないと不安がることがあります。子どもの横に座って，声を掛けたり励ましてあげたりすると，安心して指導を受けることができます。この付き添いは，子どもの慣れ具合によって，隣で，後ろで，別室でというように，少しずつ離れてもらうこともします。

先生からの指導を家で実践する，親の会活動へ参加するなど，親の役目は外にもありますが，いずれもご苦労された分だけ子どもに返ると信じます。(石見)



子どもへの働き掛け

吃音は3・4歳頃が発吃(吃音の始まり)のピークと言われます。就学前に消失してしまう子は多いのですが，吃音が自然に治る子，残る子は判別できません。吃音が見られる子への対応はいろいろありますが，共通して言われるのは，関心を示しながら子どもの話をちゃんと最後まで聞いてあげることです。

構音障害の子の中にも，自然に発音の誤りが治る子がいます。年少時に誤っていても就学までに自然によくなるということはい多いものです。音の獲得の順序はほぼ決まっているので，吃音と違い，自然に治ることが期待できる子は大体分かります。

どちらにも共通するのは，子どもの話し方でなく，その中身に関心を示しながら話を聞いてあげることです。これは障害の有無にかかわらず，子どもの話を聞く姿勢として大切なことではないのでしょうか。そして，家庭でそのような対応をしていただいた上で，できれば早期に佐渡ことば・こころの教室に相談していただければと思います。私たちは，いつでも相談を受け付けています。(中村)



親の会コーナー



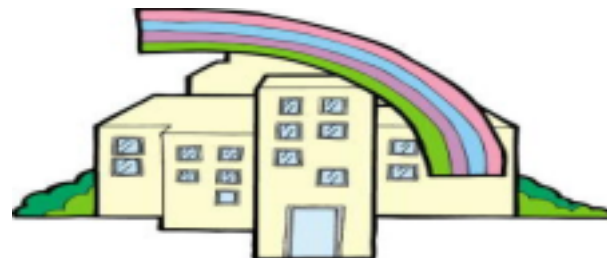
会員の声 No.22

お世話になりました

M.S

短い間でしたが、子どもは喜んで通いました。お陰様で、どもりは全然出なくなりました。幼児語も気にならなくなりました。言葉を治す教室というより、普段と違った場所で母親と楽しく過ごせる時間がもててうれしかったようです。

親子共々いい経験ができました。ありがとうございました。



お知らせ



第2回判定委員会がありました

2月28日(水)に第2回判定委員会を行いました。8名の入級と24名の修了が認められました。うれしいことに、今年度開設されたところの教室からも2名が修了となりました。

これで今年度入級者は第1回判定委員会分の33名を合わせて41名となりました。来年度は約140名の子どもたちでスタートすることになります。

判定委員の皆様、ご多用の中どうもありがとうございました。



修了式・お祝いの会について

今年度の修了者は24名です。お祝い申し上げます。下記日程で修了式とお祝いの会を行います。来賓をお招きしての会です。平日の午後ということで出席が難しいかもしれませんが、修了者の保護者の皆様はぜひ都合を付けてご出席ください。

日時 平成19年3月16日(金)
15:30~

会場 金井小学校 3階 視聴覚室

修了者の保護者の皆様には案内を送付いたしました。

